

# 山風

やまかぜ

平成20年10月1日

秋号 第36号

発行：日蓮宗 本立寺

〒192-0902

東京都八王子市上野町11-1

電話 042-622-2262

FAX 042-622-2106

Eメール honryuji@oak.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.honryuji.com

## 伝えると伝わる

住職

及川玄一

自分は話題のiPhoneに買い替えておきながらこんなことを言うのもなんですが、「携帯電話はこの世から無くした方がいい」と真剣に考えています。正月号の山風で老子の「民に利器多くして国家ますます昏くらし」という言葉を紹介しましたが、携帯電話はまさにその代表選手です。世の中には多くの原理法則がありますが、便利さを享受すればその分失うものも多いということも一つの法則に違いないとせぬ。

しかし、便利なものというのはなかなか魅力的で、一度その味を知ってしまうと止められないものです。携帯に付帯するメール機能などもその一つでしょう。

明治時代に新しい短歌の形式を確立した正岡子規が病床にあって当時普及し始めた郵便制度を門人への伝達手段として活用していたという記事を数日前の産経新聞で読みました。子規は自

作の短歌や門人の作品を郵便によって回覧し添削をして指導していたようです。現在の通信教育の走りといえるかもしれません。



本立寺客殿から望む中庭

鎌倉時代に活躍された日蓮聖人は手紙によって信徒との結びつきを深め、信心を育みました。おそろく同時代のどの祖師方よりも多くの手紙を書かれ、またそれらが遺文として残されているのではないのでしょうか。

日蓮聖人が手紙を多く書かれたのはやはり何らかの理由があつてのことと思われませんが、その一つは生涯を通じて長く一所にお住まいになることがなかったということがあるかと思えます。流罪などにより流転生活を強いられ、いたからです。出生、出家の地小湊、遊学、布教の地鎌倉、流罪の地伊豆、佐渡、隠棲の地身延など、その住まいを転々とされたことで人々との交流が広範囲に及びました。しかし、その時代のこと

## お会式

法華経の布教に命を掛けられた日蓮聖人のご命日です。どうぞ、お題目を唱えにいらして下さい。

多数のご参拝お待ちしております。

10月12日	12時30分	お斉膳
	1時30分	法話
	2時30分	法要

すから伝達手段は人力がほとんどだったでしょう。

子規にも日蓮聖人にいえることは自分のハンディキャップ(病床にある、距離が離れている等)をその時にとり得る最善の方法を活用して乗り越えようとしたことです。そして何より伝えたい、伝えなければならぬという強い思いを秘めていたことでしょう。

心のこもったものはいつまでも残り、そうでないものは簡単に消去されてしまふ。これも一つの世の中の法則かと思えますが、二人の生き様はそんなことを教えてくれているように思えます。

我々の務めは日蓮聖人が伝えたいと熱望されたことを今の時代の皆様にお伝えし、感じて頂くことです。伝えるだけでなく、伝わるのが大切です。もうすぐ日蓮聖人の七二七回忌を迎えます。お会式は我々が日頃どれだけ役割を果たしているか試される機会のようにも思えます。なぜならお会式は日蓮聖人への報恩感謝の日だからです。どうか十二日の法要にお参り下さい。

# 法師品

## 第十

このお経には「法師」としての心構えが説かれています。この「法師」とは「法華経を広めるために努力する人」という意味です。このように言つと、「法事などいろいろな場でお経を唱えたり法話をしたりと、実際に人に広めている僧侶のことだけを指すように思われるかもしれませんが、本当は、広める人」だけでなく、「実践する人」も含まれます。この「実践」とは、例えば「法事やお寺の行事に参加してお経を読む、仏壇に手を合わせる」ことなどはもちろん、周囲の人が幸せになるようにと願つて行動したり、優しい心をもつて笑顔で人に接するなど日々の生活の中で、お釈迦様が仰つたことを心がけるということです。

# 法華経二十八品

◆その教えのポイント◆

それでは「法師としての心構え」とはどういったことでしょうか。お経には「もし法師が私（お釈迦様）の滅後にこの法華経を説こうとするならば、如来の座に入り、如来の衣をまとい、如来の座に坐した後、広く法華経を説くと良いですよ。」と、このように説かれています。一つ目の「如来の座に入り」とは、どんな人でも受け入れられる広い心、大きな慈悲の心。二つ目の「如来の衣をまとい」とは、落



ち着いた心で、たとえ苦しめられても怒りや憎しみの心を起さず、柔和忍辱の心。三つ目の「如来の座に坐す」とは、執着の心を持たず、違いはありのまま認め、すべての物事を平等にみるという意味です。ここで、なぜ「法師としての心構え」を説くために「如来の……」とアドバイスをしたのか考えてみますと、この三つのポイントというのは如来（仏様）の悟りの境地であり、法師の目指すところであり、つまり、私たちは常に仏様のようにならなければならぬ、心にかけて行動すべきであると説いているのです。心の未熟な私たちにとってはとても難しいことではありますが、そういった姿勢でいることが、自然と周囲の人に良い影響を与え、法華経を広めることにも繋がっていくということです。

仏種（仏になる可能性）は、すべての人にあると言われてはいますが、まずはそのことに気付かせてあげなければなりません。ですからこの法師品では、すでに法華経にふれている人の心がけがいかに大切かということを教えて下さっているのだと理解しています。

（吉）

# 字無字

おしえて下さる。

Q 法事の際に建てるお塔婆に順番はあるのでしょうか？

A 一般的にまず法事の施主、次に亡くなられた方に縁（血縁）が深い方から順番に建てます。



例えば、夫の法事に対してお塔婆を建てる時は、妻または、子供の中で施主となる人、その兄弟（姉妹）の順にお塔婆を建てます。もし娘さんが結婚されているときは通常その夫の名前で建てます。家を代表して建てるので家長の名で建て

るのです。家長という概念が薄れた最近ですから夫の名前ではなくご自身の名前で建てることを希望される方もいらっしゃると思います。それは施主様が了承されていることでしたら、それで結構かと思えます。次に、親戚、友人と続き、親戚の中では故人の兄弟を始めとして近い方より順に建てていきます。

通常「法事のお塔婆はお建てる方のお名前を法事の中で読み上げます。名前の読み方は同じ字であつても様々ですから、ご注文下さるときに仮名をふつて下さると助かります。お書きするのに時間がかかりますので、「法事の一週間前までにお建てる方のお名前、ふりがな、順番をお知らせ下さいませ」とお願い申し上げます。

## 己 介 清原 悠太

私は、埼玉県の上尾市より参りました。これまで、一般の家庭で育ち、仏教の学校にも通った事無しの、まったくゼロからスタートする二十五歳の男です。今まで色々なアルバイトを転々とし、人生の道に迷っていた所、小さい頃から良くして下さった本立寺様がお誘い下さりこの場所で修行させていただくこととなりました。

しかし、お寺での修行は私の想像を遙かに超えていました。礼儀作法から言葉遣い、そしてお経と、覚える事は山ほどあり、正座も初めは十分くらいで根を上げておりました。

日に日に学んで成長している自分に気付き、この多くを学べる環境を有り難く思っています。御前様、並びに奥様そして先輩方はとても良くして下さい、まるで家族のように生活させていただいております。

まだまだ勉強不足ですが日々努力し、一日でも早く立派な僧侶になれるよう頑張りたいと思います。皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。



ニュースと  
行事案内

摩天楼法話会

新宿寺子屋 成子庵

今年も新宿の常圓寺で法話の会が開かれています。心に染みるお話が聞けることと思います。どなたにもご参加いただけます。ぜひお越し下さい。

- 第一回 (8月20日 終了)
- 第二回 (9月17日 終了)
- 第三回 10月15日(水)2時~4時  
仏教情報センター事務局長 互井 観章  
「末法だよ全員集合」
- 第四回 11月26日(水)2時~4時  
(財)全国青少年教化協議会 神 仁  
「ブツダからガンディーへ」

会場 新宿 常圓寺祖師堂  
受講料 各回一、〇〇〇円(当日受付)  
予約申込みは不要です。  
当日直接会場へお越し下さい。

投稿 短歌 大谷啓造様

吾は唯 満足知りし 不満なし  
感謝をしつつ 上を目指して



京都 龍安寺 つくばい  
真ん中の四角い部分を漢字の「口」の字として、それをそれぞれ漢字の一部に取り込み、「吾、唯足るを知る」と表現している。

いのちに合掌  
いのり題目の日

お釈迦様の真髓である「法華経」と曰蓮聖人の根本である「お題目」を基本として、健やかな心・幸せな家庭・安全で活力に満ちた社会・世界の平和を実現するのが「いのり題目の日」です。

日時 10月28日(火)

正午より 開場・イベント開催  
午後1時30分より 法話・法要

会場 杉並堀之内 妙法寺  
(全席イス席)  
参加費 二、〇〇〇円

JR八王子駅南口より現地直行バスが出ます。(バス・弁当代三千円)  
参加希望者は本立寺まで事前に  
お申し込み下さい。

同時イベント

NGO・NPO展示並びに  
クラフトショップ開催

日蓮宗グッズの販売  
(日蓮宗新聞社)

世界にお布施  
NGO・NPOを通じ義援金  
として活用させて頂きますの  
で当日ご持参下さい。

古切手・失敗八ガキ・テレフ  
オンカード・クオカード・ビートル  
券・商品券等

「読経教室」初級コース

10月18日(土)より「初級コース」が始まります。読経教室では、お経を読むときの姿勢、声の出し方、正しい合掌などの基礎を中心に、「妙法蓮華経」の意味や読み方を学びます。

お経



を全く  
読んだ  
ことが  
ない方  
はもち  
ろん、  
既にこ  
の初級  
コース  
を修了  
された  
方が復  
習のため再度参加なさることも大歓迎です。檀家以外の方でも参加できます。是非、お誘い合わせてご参加下さい。

法華経写経会

「写経」というと般若心経の書写が一般的ですが、本立寺では日蓮宗の根本経典である「妙法蓮華経」を書写します。お寺の静かな本堂で、お香の香りで心身を浄めて経文と向かい合います。お気軽にご参加下さい。

開催日 毎月第一木曜日

年回法要

亡くなった人の命日に當む法要を年回法要または年忌法要と言います。一般に法事と呼ばれているものです。

法事は、亡き人を偲び、その人の冥福(冥土の幸福)や成仏(仏と成る)を祈る大切な仏事です。亡き人は皆さまから受ける供養を心待ちにしているのです。

生前お世話になった人に対し感謝や恩返しをする意味でも忘れずに必ず執り行いたいものです。来年、法事にあたる方は次の表の通りです。

平成二十一年 年回表

一周忌	平成二十年
三回忌	平成十九年
七回忌	平成十五年
十三回忌	平成九年
十七回忌	平成五年
二十三回忌	昭和六十二年
二十七回忌	昭和五十八年
三十三回忌	昭和五十二年
三十七回忌	昭和四十八年
四十三回忌	昭和四十二年
四十七回忌	昭和三十八年
五十回忌	昭和三十五年
百回忌	明治四十三年

なお、「法事を行う場合は、お早めにお寺まで日時等をご相談下さい。

# 七五三

お子様の成長の節目に、身体健全・発育増進を御祈願致します。

日時 ご相談下さい。

場所 本立寺本堂

祈願料 五,〇〇〇円(お守り・千歳飴付き)

お申し込みは寺務所まで



## 奉納御礼

一、夏用五条袷袷四肩

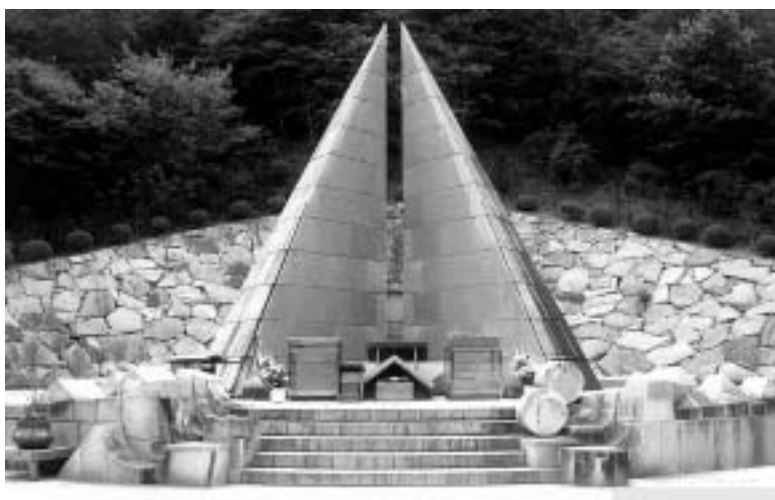
八王子市 木崎 忠重様

一、本堂用花立一對

八王子市 三代川リセ様

## 御巢鷹山慰霊登山

去る8月6日、八王子の日蓮宗僧侶有志による恒例の御巢鷹山慰霊登山が行われました。早朝に八王子を出発しましたが、御



巢鷹山近くの道路で土砂崩れがあり全面通行止めとなっていたため、麓にある慰霊の園(慰霊の式典会場になる)まで戻り、法要を行いました。事故から丸23年になります。犠牲者の方々への供養の気持ちをつつまでも忘れることなく、この慰霊登山を続けていこうと思います。

本立寺ホームページ <http://www.honryuji.com>

# 暦

こよみ

## 10月 (神無月)

2日 読誦行 午後2時

3日 写経会 午後2時

10日 佐渡法難会 午前7時

文永八年(一二七一)日蓮聖人は鎌倉幕府によって佐渡へ流罪される

本立寺「お会式」

12日 日蓮聖人ご命日

18日 読経教室「初級コース」開始 午後2時

22日 読誦行 午後2時

## 11月 (霜月)

1日 日蓮宗大荒行堂入行会

千葉中山法華経寺において百日間の荒行開始

2日 読誦行 午後2時

6日 写経会 午後2時

11日 小松原法難会 午前7時

文永元年(一二六四)日蓮聖人は東城景信の襲撃を受ける

12日 題目講 午後7時

22日 読誦行 午後2時

## 12月 (師走)

2日 読誦行 午後2時

4日 写経会 午後2時

8日 釈尊成道会

お釈迦様が悟りをひらかれた日

12日 題目講 午後7時

22日 読誦行 午後2時

※10月12日は「お会式」のための、夜の題目講はありません。ご注意ください。



## 墓地・室内墓

ただいま当山に墓地をお求めになる方(永代使用者)、並びに、釈迦堂内の「室内墓」を使用なさる方を募集しています。ただし、これらの墓地をお使いいただくには、本立寺の檀家となることが前提となります。

## 永代供養

現在ある先祖代々の墓を将来継承することが出来ない方や新たに墓を作っても後継者がいない方のための共同の墓所が釈迦堂に併設される「永代供養塔」です。この供養塔に埋葬された方のご供養は、お寺が永代に渡って責任を持って行います。ご使用に当たっては永代供養料をお納めいただくこととなります。

## 納骨壇

「ご遺骨を一時的にお預かりするため」の「納骨壇」が釈迦堂内に設置されています。この納骨壇は檀家以外の方もご利用いただくことができます。

お問い合わせは寺務所までお願いいたします。